

町民の命を守る！ 自助・共助・公助の組織

～熊野町議会災害対策特別委員会～

防災対策の基本は、「自助」、「共助」、「公助」の3つであり、これらが上手く連携することで、防災対策は効果を発揮することができます。

「自助」は、防災の基本となる考えです。「自分の身命は自分で守る」「自分のことは、自分で助ける。自分で何とかする」という考えです。

「共助」は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自分の周りの人たちとの助け合いです。組合や、町内会単位など組織による助け合いになります。

「公助」は、この度の本町の7月豪雨災害にも当初から支援をいただいている、「国総研」や「TEC-FORCE」など、国や自治体による災害時の救助・援助のことです。

自助、共助、公助の組織についても理解を深め、万一の災害の時に迷うことなく自分にできる最善の行動をとれるようにしましょう。

公助

I. 国総研（国土技術政策総合研究所）

住宅・社会資本分野における唯一の国の研究機関。

産学官と技術連携・融合を図り、災害時には当事者として参画し説明責任を果たす。

11部門と1センターで組織され、この度は、土砂災害研究部が中心となっている。

自治体の避難勧告・指示の発令遅れや、住民の逃げ遅れ等を背景とする「洪水危険度の見える化」など、防災・減災・危機管理の研究を行っている。

I-1. TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

災害時に自治体を技術支援するため、平成20年4月に創設。本省災害対策本部長等の指揮命令のもと、地方整備局等の職員が参画。

自助・共助

II. 広島市総合防災センター（安佐北区倉掛）

「見て・聞いて・体験して覚える」として、さまざまな災害において適切な判断や行動がとれるよう、楽しみながら防災知識を身につける体験学習施設。防火が中心だが、自主防災研修として、自主防災会や町内会、子ども会などを対象とした研修もある。

自助

III. 「命を守る」防災情報館 安藝

1月9日（水）、出来庭地区に防災情報を発信する拠点として、「防災情報館 安藝」が開設された。

昨年の7月豪雨による被災状況を紹介する写真パネルや、防災グッズが展示され、2階の講習室では、子ども向けの自動体外式除細動器（AED）の講習などが行われる。

随時、展示内容を更新し、「自助」を考えるうえでも有用な最新情報が提供される。



非常時の炊き出し
ステーションの展示

ICTを使った授業を参観

～文教委員会～

文教委員会では、10月31日に熊野第二小学校と熊野東中学校を訪問し、タブレットや電子黒板を使ったICT教育の授業を参観しました。これまでの授業で実現できなかったことや、生徒が意欲的に学習に取り組む姿をみることができました。

○熊野第二小学校

【授業参観】

電子黒板を使った外国語活動の授業

【学校との意見交換】

Q 今後の電子黒板を用いた授業の展望は。

A 電子黒板はツールなので、教員のスキルがないと上手く使いこなせない。紙よりも電子黒板を使用する方が効果的な場合に使用したいので、そのための研修を行っていく。



電子黒板を使った外国語活動の授業

Q 授業の組み立て方についての工夫は。

A ICTを教材として使うことありきでなく、何を教えたいのか、何の力を付けさせたいのか、どの教材を使うことでより効果があるのかを考えて組み立てている。



タブレットを使った社会科の授業

○熊野東中学校

【授業参観】

タブレットを使った社会科の授業

【学校との意見交換】

Q タブレットがうまく活用されているか。台数が足りないのでは。

A 理想は1人1台で、電子教科書から資料までデータ化して全てタブレットに入れることだが、現実的には難しく環境も整っていない。授業の中でタブレットを大型モニターに映し出して活用したり、タブレットが1台あるだけでインパクトが変わる場面など、授業でフルに活用するのではなくポイントで活用する工夫などを行っている。

ICT教育は、教員と生徒の双方にメリットが多いことを確認できました。今後、委員会としてもICT教育の充実に積極的に取り組んでいきます。

今月の表紙

「熊野卓球スポーツ少年団」練習の様子（熊野第二小学校5年 藤河知里さん、昭和北小学校4年 松下莉奈さん）

町民体育館で土曜日午後5時～7時と熊野第二小学校で日曜日午前9時～正午の週2回、小学生・中学生を中心に活動しています。活動の中で「他人を思いやる心を持つ」をキャッチフレーズに、練習をしています。

月に1回の割合であるジュニアサーキットや、各地域の少年団との試合にも積極的に参加し、たくさんの人との交流を通し色々なことを学び成長しています。卓球は気軽に楽しめるスポーツです。

ぜひ見学に、また体験に来てください。

代表指導者 貞金 達士
連絡先 85415028